

# 石見・安芸西部・山口県のカツラの記録

三宅 貞敏

「山口県の自然」第83号（2023年3月）別刷

山 口 県 立 山 口 博 物 館

## 石見・安芸西部・山口県のカツラの記録

三宅 貞敏<sup>1)</sup>

カツラは出雲や石見では「たたら」の金屋子の守り樹としてされており、山口県内のものがこれに関わるものか、地名・植物生態の面から眺めて見た。

凡例

■たたら記録・(県内金山かや関連地名は文献 a にある)

△カツラ(桂)の地名

山口県地名研究の高橋文雄氏「山口県地名考正・続」で「桂坂」の解説で、「葛=くずばかずら」の意と「ごつごつした-けわしい」の意味が含まれているとされている。

文献「山口県地名明細書」田村哲夫編 史書刊行会(1972)・「角川日本地名大辞典」(1988)

このほか「地下上申」でフジに「藤桂-フジかずら」が当てられており、「桂」=「かずら」として使用され、フジの大きいものがある地として使われたことが分かる。山口県ではフジ=ふじかずら、クズ=くずかずら・くずばかずらと呼称している。

●カツラ(植物)の記録地(ゴチ)

- ・YM=県立山口博物館標本-1958~1995 三宅目録、(三宅)測定記録年
- ・カツラの文献記録 \*環境庁 \*\*地元文献・三宅メモ。
- ・標高 国土地理院地図より推定~旧高度計記録。
- ・生育環境 a=溪流そば b= 溪流より 10m 以内 c= 溪流より 10m 以上。

○私見

島根県(出雲)

カツラ 中国山地寄り、隠岐にやや稀(杵村 2005)

安来市(旧広瀬町) 西比田 黒田 桂ヶ森 金屋子神社(平安期~伝説の地) a(三宅 8.21,2008) 社伝 播磨国 千草(兵庫県宍粟郡千種町)から「金屋子神」がシラサギに乗って飛来カツラの木に降り立って、この地の安部氏に鉄造りの技術を教え、葬った地が「金屋子神社」とされ、「たたら」関係者から「比田の金屋子」として信仰を集めたという。

ただし、よく云われるご神木は必ずしも「カツラ」で無く、島根県(金城町)では銅滝鉦(桂)・栃下鉦(松)・大元鉦(櫟)の例(隅田正三 2017)。広島県北広島町で杉・松・桂の例、山口県(旧油谷町)で杉の例が報告されている。

---

1) MIYAKE, Sadatoshi 〒753-0024 山口市金古曾町 8-3

## 島根県（石見西部）

### 浜田市

同（旧弥栄村）

- （鉦タヲ・鍛冶場）明比谷・高源・ゆるぎ・梨ヶ谷・鱒淵・道円坊など  
大坪-大橋鉦、門田-明此谷鉦・高源鉦、三里-梨ヶ谷鉦（角川地名）

- 門田「門田のカツラ」（550m・幹周 14.7m 高橋 2014）・同（単立・並立）a（三宅 5.2017）・弥畝山 十文字山国有林\*\*約 500m a（三宅・山根文人 10.2009）

同（旧金城町）

- （鉦）鍋滝ほか 87 ヲ所（町誌 1-2001）

- 波佐「鍋滝のカツラ」（金城町→浜田市天記）約 700m a 金屋子社 7.84m（幹周）21.5m（樹高）宮本巖（金城町誌 2001）・同 5~6 分岐、空洞約 6.80m（根周）約 30m（高）（三宅 2004・7.2008 ほか）、木東峠\*\*（芸北境）・後山\*\*（波佐）（宮本 2001）

同（旧三隅町）

- （鉦）滝見・大口・溝子・加納谷・九船原・鹿子谷

### 益田市

同（旧美都町）

- （鉦）都茂大鳥-表屋・田代・勝地・鍛冶屋屋敷・大切・内石（大鳥 大切）・赤松谷上（奥内石）・鉦原・葛根（葛根藪原）

同（旧匹見町）

- 道川鉦（元組・白木谷・赤谷・甘原など 15 ヲ所）・匹見上下（鳶木・矢尾・能登・広見・内谷・七村・谷口など 20 ヲ所）

- カツラを含む植物群落の例

奥匹見峽溪谷林\* 標高 600m（杵村喜則 1978）

高木層トチノキ（5・3）・カツラ（1・1）＝（被度・群度）

亜高木層 オオバアサガラ（記入漏れ）

低木層チャボガヤ（4・4）

草本層ミヤマカンスゲ（2・2）・

裏匹見峽溪谷林\* 標高 500m（杵村喜則・松岡秀樹・家原敏郎 1978）

高木層ウラジロガシ（4・4）・カツラ

亜高木層 ウラジロガシ（2・2）・ヤブツバキ（2・1）・サカキ（2・1）

低木層ヤブニッケイ（2・1）・ヒサカキ（2・2）

草本層キズタ（+・2）

- 奥匹見峽\*\*約 600m（杵村 1978）、表匹見峽約 360m a 多分岐、約 7.30m（目）約 17m（高）（三宅 2004・2005・8.2015）、裏匹見峽\*\*約 500m（杵村ほか 1978）・同（群岩の瀬附近）a \*\*（三宅 6.2005）、紙祖川 a ヤマヅクラを巻き込む約 5.50m（根周）約 17m（高）（三宅 1961YM.・9.2016）、安藏寺山 伊源谷\*\*約 670m a（三宅 5.2005）

## 津和野町

同 (旧日原町)

■ (鉦) 左鐙~横道 こごう・島・奥谷・成日照 (大庭良美:日原村聞書)

横道 猪木谷・左鐙 竜谷鉦跡 (町指定)

●高嶺芦谷国有林 (岡国夫 4.1965YM.)、奥谷口\*\*約 700m (三宅 5.2003)、安藏寺山新林道-小石谷口 (小)\*\*  
約 500m a (三宅 6.2008)

## 吉賀町

同 (旧六日市町)

■ (鉦) 高尻 カツバミ山・河内・摺材屋・福井谷など (角川地名)

●河津-林道河津~折本線 (入口付近) 約 550m 7.80m (根周) 近くツグミ (大) 約 20m (高) (三宅 2007)、  
鹿足河内川-河内大明神附近\*\* (三宅 8.2005)、河山奥\*\* 約 5.50m (根周) (三宅ほか 11.2006)

同 (旧柿木村)

■ (鉦) 鈴の大谷山・椈谷 田口山・御手鉦 (藩営 5カ所の1つ) (角川地名)

●平栃滝\*\*a (三宅 9.2006)、福川 平野谷\*\*4.80m-1.3m 周 (柵)、中河内 向井屋敷橋 約 360m a (三宅  
1965・三宅 1996YM.・三宅・山根・徳光弥生 3.2007fl.)、椈谷 鈴の大谷山\*\* (作業所~伝法寺平 岡  
5.1958YM.・1968YM.)、同 左ヶ谷 愛宕神社 (町天記) \*\*約 560m b 表示-10.36m (株周囲) 樹齢 550  
年。(三宅 2003・2006・2010)、恋路山トンネル→柿木側-同 中条 (大峯谷川) \*\*約 5.0m (根周) (三  
宅 7.2005)

## 山口県 (長門)

山口市 (旧阿東町)

■ (鉦) a 長門峡 (篠生 鉦-多々良川上流標高約 300m、遺構・スガ)・小南 (徳佐中小南-標高約 300m、  
遺構 スガ-自然崩壊-野たたら跡かと。)・金山谷 (徳佐中 水尻-多量のスガ)・嘉年 (嘉年 神田 鑪山-丘  
陵谷間 450m、遺構不明)

●十種ヶ峰 徳佐 神角 約 400m ab (三宅 1967YM・見明 1972YM・1975YM.)、同① 7分岐、3.30m (根  
周) 約 14m (高) ② 単立 1.78m (目) 約 28m (高) ③ 単立 2.85m (目) 根元でワカサギと合着、約 30m  
(高) ④ 単立 2.58m (目) 約 30m (高) ほか⑤ 4分岐のものあり。一部植栽の可能性ある。(三宅  
1987YM.・2000・6.2003 ほか)・同\*\* (入江寿朗 2014- 野外植物)・同\*\* (秋丸 2016- 野外植物)、徳佐 野  
道 (三宅 1970YM.)

萩市 (旧田万川町)

■ (鉦) a 三ヶ岳 (下田万 明間-通称たたらヶ浴・たたらヶ平、スガ)・尻高山 (江崎-海岸沿い~山腹 25m、  
遺構・スガ) a-p.90 送風管の項で気呂竹としてまことに好適なものであると述べられている。=これ  
はトウチクのこと。但し実際に使われていたかどうかは分からない。

□吹子たたら 鞆7ゴ たたら (平安~室町)「長さ 3m 60cm、直径 5cm の竹を剥り貫き「火吹き竹」を吹  
く要領で、口に当てて息を一気に吹き込む。たたらのはらの片側に 8本、両方で 16本の気呂をセット  
して、16名の吹き子によって一気に送風する方法がとられていた」(隅田 2017) という。

○このタケはマダケかハチクと思われるが、山口（田万川）尻高山と（須佐）唐津谷にはトウチクが遺存する。トウチク=中国原産というがはっきりしない。稈は高さ 8~10m、**節間が長く** 60~80cm、稈直径 3~4cm に達するが稈質は弱い。山口県内では真崎 博の記録（1995）では和木町瀬田八幡・周南市川上（旧佐古集落）・防府市西浦があり、私は山口市大内畑（大内-間田氏ゆかりの旧地）で見ている。カツラは未記録。

同（旧須佐町）

■（鉦）a 金山谷（尻高山の分鑑、唐津-唐津川谷間 140m、不明・スガ<sup>g</sup>）・鈴野川 遅谷（日向 上鑑-鈴野川谷間 170m、遺構スガ<sup>g</sup>）・荒山（日向鑑床-鈴野川谷間 170m、遺構）・田別当（弥富上-田別当川谷間 350m、遺構・スガ<sup>g</sup>）

△鈴野川 桂ノ浴（角川地名）

●須佐 犬啼山\*6.00m（環境庁）・同 犬鳴山（527m）- **唐津谷** 約 300m a ①大 10 α分岐、約 7.80m（根周）約 23m（高）②小 6 α分岐、約 4.50m（根周）約 18m（高）（三宅 2005、三宅・山根・徳光 2006、三宅 12.2010 ほか三宅 1 0 8 樹 III-46）

○ここは古い「唐津焼」窯があり、凡そ「たたら」と同時代に燃料山となっていたものであろう。背後の犬鳴山の谷に 2 本のカツラが現存し、更に麓の人家の背後にトウチクが見られる場所があった。

阿武町

■（鉦）・a 白須（白須 西平-国史跡 白須川標高約 130m、遺構・スガ<sup>g</sup>・金屋子神祠など）・八幡平（白須 狼谷谷口- 白須川標高約 300m、古い製鉄遺跡）・小六（白須- 白須川標高約 400m 山頂部付近、野鉦かと・福田（福田下 鉦- 開作川谷間 380m、水田遺構なし・数基の墓）・b 熊野山（奈古 黒ぬた-山腹谷間 350m、スガ<sup>g</sup>・不明）

○白須鉦-調査記録では金屋子神祠があるが、神樹の存在は記されていない。カツラは未記録。

萩市（旧むつみ村）

■（鉦）a 長尾山（吉部 小杉（丘陵谷間 280m、遺構）= 長尾山小杉鉦=吉部鉦（藩営）大人浴-長尾林道奥（むつみ村史）

△吉部上-桂 1~2（角川地名）カツラは未記録。

同（旧福栄村）

■（鉦）a 大板山（大葉山）（紫福-県史跡 山ノ口川 谷間標高 270m、遺構。一部ダム水没。この地の旧跡（旧墓地はダム工事で移転されている。金屋子神祠（石積み基壇）+カツラも加えて復元という。・船ヶ原（紫福 船が原-スガ<sup>g</sup>・不明・金峰（福井下 ひびの木-スガ<sup>g</sup>・不明）カツラは未記録。

同（旧萩市）

△椿東-桂（角川地名）、山田- 後藤の浴 桂（田村地名）

三見-桂木（角川地名）・床波-桂木（田村地名）

●三見 手水川 **足谷**（金谷）\*\*8 本株立ち、周囲約 5m 以上（草野 2005）、同約 200m a 表示-根回り最小 5.9m、2~300 年と。同 8 分岐、約 5.90m（根周）最大幹 1.95m（目）約 20m（高）（三宅 2000・11.2005・2007・2017・三宅 1 0 8 樹 III-26）、同 床波 **荒神社** 2.40m（目）4.00m（根周）（岡 4.1985）、同 b 2 幹合着、2.44m（目）萌芽 16 ±、約 4.40m（根周）約 23m（高）（三宅 2.2006）

○足谷のものは入口看板にはカツラ+「たたら」の存在が記されていた。文献 a には三見地区から 6 ヶ所の銅採鉱の記録がある。また、草野（2005）は（海に近い低標高地から）植栽の可能性を記している。荒神社のものは植栽かと思われたが、桂木の地名が気になる。

#### 美祢市（旧美東町）

△絵堂-桂ヶ峪（角川地名）

大法師山 大星山 直立高百九十六間・・・此山に桂の木有・・・古へ北斗星桂の木の下に降臨ありしといふ 妙見靈験記にも長門桂木山に初て降臨すと・・・（「防長風土注進案」美祢宰判 大田村）

#### ●「桂坂のカツラ」（市指定天記）

大法師山（558m）桂坂 b 8.80m（根周-町教委資料）・同 頂上近く約 450m 根元 9 α 分岐、空洞あり、約 8.70m（根周）約 25m（高）ヒノキ林と自然林の境界域イロカヅ・アガシ  
・・・谷筋（三宅 5.2003・2004・三宅 1 0 8 樹 II-16）

○桂坂部落から見ると象徴的な山容で信仰の対象になったものと思われたが、「町史」には記載がない。谷の状況から見て植栽の可能性はある。

#### 同（旧秋芳町）

■（鉦）a 大瀧山（嘉万 大瀧-桂木山谷間 460m、スガ）・河原上山（別府 河原上-溪谷谷間 260m、スガ）

△（嘉万上郷）桂ヶ谷（青景）桂（角川地名）、（岩永本郷）水田 桂（田村地名）

桂木山 一名止星山と云、俚言に古へより此絶頂に北辰星天降り玉ふと云、又古書にも長門桂木山に北辰降臨すと有之由、・・・（「防長風土注進案」美祢宰判 青景村）

#### ●「桂木山のカツラ」（市指定天記）

嘉万 日峰 広山 桂木山（701m の約 450m 附近）a 一本立、約 8.00m（目）36m（高）（岡 9.1979・9.1979YM.）、同 10 数分岐、約 9.75m（根周）約 30m（高）（三宅 9.2002・2004・2011 ほか三宅 1 0 8 樹 II-11）

○止星山（注進案）四条山（地下上申）桂木山は中世修験霊場の大和葛木山に通じるというが出典は不明。「山の神の森」呼称もあるとか、修験道など信仰の対象になっていたと思われる。また、桂木山のカツラは日峰側と大滝側に各 1 本ずつある。（塩見・多賀谷・松井 1994）。ということで、大滝側のカツラは大瀧山鉦とかかわりがありそうだが、現存しているのかどうかは分からない。また、2002（H.14）9.23 の「三宅日誌」に日の峰カツラさがしの項に「谷を間違えて別谷のカツラ、スゴヅユ・・・を見て帰る-徳光弥生とも」測定記録がないので小さいものであろうが留意すべき記録である。現在山頂に北辰妙見を祀る石祠が 2 つある。中世この地に関わった（青景村）青景氏（嘉万村）鷲頭氏（弘忠）に関わるものであろう。

#### 美祢市

△（大嶺北分）入見 河内 桂・南桂（角川地名）、（大嶺西分）桂（1~3）（角川地名）（河原村）奥河原 桂（市史）カツラは未記録。

#### 長門市（旧三隅町）

△桂（角川地名）カツラは未記録。

## 長門市

- (鉦) a 澁木 市ノ尾 (市ノ尾-花尾山山腹谷間 250m?、不明)・同 大峠 (大峠-山腹谷間 360m?、遺構)・俵山 黒川山 (黒川川谷間 350m、スガ<sup>g</sup>)・同 金ヶ口山 (金ヶ口川谷間 230m、不明)

△ (澁木村) 鉦-桂ヶ迫 (俵山村) 桂 (角川地名)

- 澁木 花尾山 (669m) -本谷 a ①約 320m-8 α分岐、約 7.00m (根周) 約 15m (高) ②約 400m-9 α分岐、約 6.90m (根周) 約 20m (高) (三宅 4.2012・2013)

○谷筋にカツラが2本現存するが市ノ尾「たたら」関連の調査は未だのようだ。

同 (旧油谷町)

- (鉦) a 河原御立山 (河原 二本松 黒滝- 標高約 100m、大坊ダム水没) スギの大木-根元に小祠があった金屋子神祠かと記されている。

△河原村=旧菱海村 伊上 小路 桂河内 (角川地名)

下関市 (旧豊北町)

- (鉦) a 小河内 (小河内川谷間 標高約 100m、遺構・スガ<sup>g</sup>)・蓋ノ井 (蓋井川谷 260m、遺構・スガ<sup>g</sup>)

同 (旧豊田町)

- 殿居 開作川-天井ヶ岳南麓 (たたら場と玄空上人墓) の表示が見られた。

同 (旧川棚村)

- (鉦) a 川棚 (川棚 多々良、スガ<sup>g</sup>)

山陽小野田市 (旧山陽町)

△厚狭 桂 (角川地名)

広島県 (安芸西部)

北広島町 (旧芸北町)

- 阿佐山\*\* (「広島県植物誌」1997)

広島市 (旧湯来町)

- 恵下谷国有林 (岡 1952YM.)、麦谷\*\*、瀬谷\*\* (「広島県植物誌」)

安芸太田町 (旧加計町) 安中峡\*\* (中西弘樹・大野啓一 1978)

- カツラを含む植物群落の例

加計町 安中峡\* 標高 490m (中西弘樹・大野啓一 1978)

高木層 サワグルミ (4・3)・スギ (1・1)・カツラ (1・1)・トチノキ (1・1)

亜高木層 アカメガシワ (1・1)

低木層 ウリノキ (1・2)・ハイイヌガヤ (+・2)・アブラチャン (+・2)・・・

草本層 ジュウモンジシダ (3・3)・・・

同 (旧戸河内町)

- たたら多稼業地

- 三段峡\*\* (「広島県植物誌」、横川三段峡\*\* (三宅 8.2009)

同 (旧筒賀村)

- 上筒賀\*\*6.4m (胸周) 30m (高) (滝口進 6.1997)、坂原~ (立岩山) \*\*約 650m 約 4.5m (根周) (三宅 6.2009)

廿日市市 (旧吉和村)

- 中津川谷\*\*a6.90m (胸周) 25m (高)・6.50m (胸周) 25m (高) (滝口 1997)、同\*\* (「広島県植物誌」)、同\*\*約 700m (三宅・山根・徳光 4.2007・三宅 2013)、冠山\*\* (秋丸 2016)、吉和西\*\*6.90m・6.50m・5.0m (胸周) (滝口 1997)、冠山 小川林道\*\* (中嶋良樹 2015-野外植物)、同 汐原\*\*~ (秋丸浩毅 2017)

山口県 (周防)

岩国市 (旧錦町)

△須川-桂ノ本 (角川地名)

- 寂地山 (小田常太郎 1930・1931YM.)、寂地峽\*\* (松本秀樹 2005)、宇佐 (岡 8.1964YM.)、ようたあ林道\*\*-鬼ヶ城山中腹 (秋丸・山根 2015-野外植物)、羅漢山 (和田益夫 1955YM.)、河津 (山本家山林) 約 4.30m (幹周) - (中国新聞 5.13, 2009)、深谷大橋\*\* (三宅)、須川 古江 古江神社 (鳥居-須川河内神社) 約 220m a 3m 位で 3 分岐、主幹 (2 幹癒合-生存・1 幹枯死) 5.20m (目) 大きい樹幹倒壊。現根周=約 11m。樹幹空洞 旧根周=約 14m (三宅 3.2004・2005 ほか・三宅 1 0 8 樹 II-104)、下須川 若宮・松尾社 (鳥居-松尾社+弥山神社) 約 170m 大きく 3 分岐、主幹 2.70m (目) 5.20m (根周) 約 22m (高) (三宅 5.2003)・同 3 支幹 1.42・2.25・1.00m (目) ひこ芽 10 ±、5.50m (根周) (三宅 12.2004)、大将陣 (南敦 1991YM.)、双津峽約 150m (岡 7.1967・1983YM.)、中ノ瀬 稗原第一隧道附近\*\*約 170m 約 6.0m (目測根周) (三宅 7.2005)、広瀬 木谷 (二階重楼 1920YM.)・同\*\*岡 5.1962)・同小西 約 580m (三宅 1994YM.)・同 馬の谷 b 4 分岐、最大径約 1.3m (三宅 4.2008fl.)・同 香椎神社 約 280m b 6.30m (根周) 主幹 1 = 経 60cm ±・1 幹枯損空洞、約 16m (高) 約 25m (高) (三宅 5.2002)・同 高木屋\*\*4 分岐、最大樹幹経推定 0.4m ± 約 4.00m (根周) (三宅 4.2008)・馬糞ヶ岳\*\* (真崎博)、「向畑のカツラの木」(市指定天記) 向畑 表示-8.00m (根周) 32m (高)・同 約 320m 8±分岐、約 8.45m (根周) 約 28m (高) (三宅・山根・徳光 3.2007・三宅 1 0 8 樹 III-104)

岩国市 (旧美和町)

△下駄床-桂木、下畑-桂ヶ迫、秋掛-桂ヶ迫 (角川地名)

- 大谷 (旧秋掛) (和田 1958YM.)

岩国市

△柱野 本谷-桂ヶ浴 (角川地名)

下松市

△ (切山村 = 旧久保村) 西ヶ浴-桂坊 (田村)・末武中-上桂坊・下桂坊、下谷-桂迫 (角川地名) ○桂坊の出所は寺院由来か。

周南市 (旧熊毛町)

△八代-桂越 (角川地名)



同 (旧徳山市)

△ (旧須金村=須万上村) 西松室-桂迫 (田村地名)、(須々万奥村) 桂迫 (角川地名)、(中須北村) 桂迫 (角川地名)

●須万 木屋の浴 (大足谷\*) 約 280m 6.07m (幹) 25m (高)・同\*\*a 6.70m (胸高-「徳山百樹」)・同 4 分岐、主幹経 0.5m ±・6.15m (根周) 約 20m (高) (三宅 8.2005)、金峰 菅藏 (岡 1963YM.)、金峰山 (岡 1957YM.)・大向 明神藪 (森様) \*\*420~480m a (日野巖・岡・勝本謙・末広雄次 1957)・同 目通り幹囲 5.20m・高さ 35m (岡 1982「徳山市史」1984)・同 表示-7.80m (1.6m 周)・同 6.50m (根周) 約 30m (高) (三宅 5.2003・三宅 1 0 8 樹 I-84)・同\*\* (秋丸 2005・2006- 野外植物)

●カツラを含む植物群落の例

周南市 明神藪 (金峰山西側斜面) ウラジロガシ群落 標高約 480m ご神体の岩そば 20 × 20m (三宅 1986)

高木層 イロハカエデ (4・2)・カツラ (3・1)・カヤ (3・1)

亜高木層 ヤブツバキ (4・2)・アオガシ (2・2)

低木層 アオガシ (3・3)・シキミ (2・2)・ヤブニッケイ (1・2)・カヤ (1・1)・アオキ (1・1)・ヒサカキ (1・1)

草本層 リョウメンシダ (2・2)・イワガラミ (2・2)・ヒロハヤブソテツ (2・1)・ミゾシダ (1・1)・シキミ (1・1)

山口県ではカツラを含む群落調査例は稀だが、やや標高のある所ではサワグルミ・トチノキ・やや低い所ではウラジロガシ・イロハモミジ・が随伴している。

○明神藪= 樹林が信仰の対象として保護されている。

同 (旧新南陽市)

□福川 室尾~津木 (砂鉄) 室尾-金屋子神社 (石祠不明と)

△福川-桂ヶ谷 (角川地名)・米光-桂・奥桂 (角川地名)

(川上-中野-加見村) 桂 (田村) 中桂・西桂 (角川)

○「地下上申」(川上-中野-加見村) の項で桂「但此に往古藤かつら壺本、如大木生成仕有之、世人かつら木と申ならハして、いつとなく桂と申伝候由ニ御座候事」とある。

●和田-高瀬 大崩\*\*約 160m a (三宅 6.1982-no.56051YM.)

○当時殆ど枯損状態 (経 1.5m 前後)。今は消滅したものと思える。

同 (旧鹿野町)

△鹿野中-桂迫 (角川地名)、(巢山) 桂ヶ谷・(金峰) 桂ヶ浴 (町史)

○標高、生育環境からみて自生の可能性がある地域だが鹿野北部地区からは未記録である。

山口市 (旧徳地町)

△ (柚木村) 柚木-桂 (田村地名) 枝川かつら谷 (滑山 小河内谷)、野谷-桂・上桂、深谷-桂ヶ迫、鯖河内-奥桂ヶ谷・下桂ヶ谷、串-桂ヶ浴 (角川地名)

● 柚野 滑山国有林 (岡 1950YM.・1960\*\*)・同 鬼ヶ河内川 約 400m b 地上 2m 位で 9 分岐、6.90m (根周) 約 28m (高) (三宅 9.2002)・同\*\* (三宅・徳光・土井節子・金子芳夫 8.2011)、「船路の大カツラ」(市指定天記) 八坂 船路約 250m a (石鎚神社-石鎚本教八坂教会) そば 表示-7.8m (地上 1.6m) 10.30m (根周) 約 23m (高)・同 大きく 3 分岐、1 幹は枯損、約 10.20m (根周) 約 30m (高) (三宅 2000・5.2005 ほか三宅 1 0 8 樹 II-69)

○ 「船路の大カツラ」そばの石鎚神社とは結びつきはないらしい。

## 山口市

△ 吉敷 桂ヶ岳 (521m) ○ カツラは見出されていない。

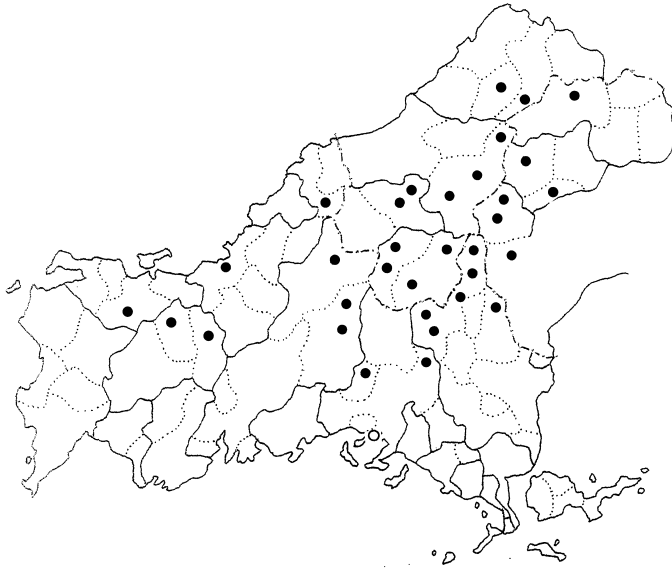
同 (旧小郡町)

△ 中郷 桂ヶ谷 (田村地名) ○ 上記桂ヶ岳の西南方向であるがカツラの記録はない。

## 主要文献

- a 山口県教育委員会 (1982) 「生産遺跡分布調査報告書」採鉱・冶金
- b 渡辺一雄 (2002) 山口県のたたら製鉄遺跡 企画展「鉄と人の文化史」県立山口博物館
- 岡 国夫ほか編 (1972) 「山口県植物誌」山口県植物誌刊行会
- 環境庁編 (1980) 「日本の重要な植物群落」中国版 大蔵省印刷局
- 萩市郷土博物館 (1991) 「改訂 山口県北部地方植物目録」
- 塩見隆行・多賀谷三枝子・松井茂生 (1994) 「桂木山の植物相」(山口県植物研究会会報 1 (8) 5~9.
- 関 太郎ほか (1997) 「広島県植物誌」中国新聞社
- 岡国夫 補 三宅 (2000) 「山口県の巨樹資料」山口県植物研究会
- 滝口 進 (2002) 「広島県の巨樹」増補改訂版 II シンセイアート
- 草野隆司 (2005) 「萩の巨樹・古木」萩ものがたり
- 三宅貞敏 (2004~2012) 「やまぐち祈りの 1 0 8 樹」I・続・続々 里山自然誌の会

分布図



写真



1 金屋子神社 (鳥根：安来市広瀬)



2 表匹見峽 (鳥根：益田市)



3 愛宕神社 (鳥根：吉賀町)



4 花尾山 (山口：長門市)



5 中津川谷 (広島：廿日市市)



6 滑山 鬼ヶ河内 (山口：山口市)